

第5期地域福祉計画策定のための団体アンケート

～御協力をお願い～

案



福祉関係団体の皆様におかれましては、日ごろから、市政のみならず広く地域福祉の向上に御協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

西東京市では、社会福祉協議会・事業者・関係機関・市民等が協力し合って「暮らしやすい地域づくり」を一層進めるため、令和5年度に「第5期地域福祉計画」を策定いたします。

計画策定に当たり、福祉分野で活動されている団体を対象にアンケート調査を実施させていただきたいと思っております。皆様が日ごろの活動を通じて感じていらっしゃる地域の課題や今後の展望などをお伺いいたします。なお、アンケート調査に御協力の後、改めてヒアリング調査の御協力をお願いする場合がございますので、御承知おきください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年●月 西東京市長 池澤 隆史

御回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて封緘し、回答期限までにポストへ投函してください。

【回答期限】 令和4年●月●日(●)

【調査に係るお問い合わせ先・調査票の提出先】

西東京市健康福祉部地域共生課地域共生係(田無第二庁舎1階)

電 話 042-420-2807(直通)、042-464-1311(代表)内線12311

F A X 042-420-2896

E-Mail fukushisougou@city.nishitokyo.lg.jp

1 貴団体のことについて

★…★印は H29設問(全編。印は確定稿で削除)

団体の名称			
代表者名			
調査票記載者名			
会員数	()名	活動年数	()年
主な活動拠点			

2 貴団体の活動について

問1 市内における活動内容を教えてください。#…#印は新規か大幅変更(全編。印は確定稿で削除)

ア 主な対象者・世帯(いくつでも○)	
1 子ども、青少年 (保護者を含む)	8 母子、ひとり親
2 若者(概ね20代)	9 認知症、権利が侵害されやすい人
3 現役世代(概ね30～50代)	10 ひきこもり、ニート
4 壮年期・高齢者(概ね60代以上)	11 LGBTQ等
5 障害児・者 (保護者を含む)	12 更生して立ち直ろうとする人
6 外国人	13 その他
7 市民全般	()
イ 主な活動内容、活動場所	
ウ 新型コロナウイルス感染症が流行する中で工夫したこと	

*記述は箇条書きで構いません。

問2 貴団体では、活動を行う上で、他の団体や機関等との交流や連携、協力関係がありますか。(当
てはまるもの全てに○)★2

1 自治会	10 NPO
2 ほっとネット推進員	11 商店街
3 民生委員・児童委員	12 企業
4 老人クラブ	13 診療所・病院
5 社会福祉協議会	14 保育園(所)
6 地域包括支援センター	15 小・中学校
7 子ども家庭支援センター	16 育成会・PTA
8 サービス提供事業者	17 その他
9 ボランティア団体	18 特に関係はない

⇒1～17のいずれかに○をつけた方は、その番号と具体的な内容の御記入をお願いします。★2+

問3 貴団体の活動において、市民と一緒に、あるいは地域や他団体などと連携して取り組みたいこ
とはありますか。#

問4 貴団体と市民、地域、他団体との連携を進めるために、市へ期待することはありますか。#

問5 今後、貴団体は、行政と協働してどのようなことに取り組みたいと思いますか。★12

問6 貴団体が活動を行う上で、どのようなことに困っていますか。(当てはまるもの全てに○)★3

1 活動のマンネリ化	7 困り事の把握が難しい
2 新しいメンバーが入らない	8 他の団体と交流する機会が乏しい
3 リーダー(後継者)が育たない	9 活動の場所(拠点)の確保が難しい
4 市民に情報発信する場や機会が乏しい	10 活動資金が足りない
5 人々のニーズに合った活動ができていない	11 その他 ()
6 支援を必要とする人の情報が得にくい	12 特に困ったことはない

問7 貴団体では、団体の活動の内容や情報について、どのような方法で発信していますか。(当てはまるもの全てに○)★4

	現在の情報発信方法	
	番号に○	→○の場合、具体的に
市の広報紙	1	
社会福祉協議会の広報紙	2	
チラシやパンフレットの配布	3	
ホームページや SNS	4	
メンバーなどによる口コミ	5	
地域の掲示板	6	
その他	7	

3 活動を通して見える地域の状況について

問8 地域の中で、見守り等支援が必要な人や、気に掛かる人(何らかの課題を抱えている人)がいますか。(当てはまるもの全てに○)★7#

- 1 高齢者のみの世帯
- 2 寝たきりと思われる人
- 3 認知症と思われる人
- 4 病气療養中と思われる人
- 5 閉じこもりやひきこもりと思われる人(*1)
- 6 生活に困窮していると思われる人
- 7 大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯(ごみ屋敷)
- 8 高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯(老老介護)
- 9 近隣や地域と関わりを持たない人や世帯
- 10 高齢の親が同居する中高年の子どもの生活を支え、経済的に困窮している世帯(8050問題)
- 11 子育てと親の介護をひとりで同時に抱えている世帯(ダブルケア)
- 12 子どもが家族の介護などによって、自分の時間を持ってない世帯(ヤングケアラー*2)
- 13 家族の間で虐待が疑われる世帯(虐待)
- 14 その他、複数の困り事や深刻な課題を抱えていると思われる世帯
- 15 いない
- 16 分からない

*1 ひきこもりとは、様々な要因により、社会的参加(就学・就労・家庭外の交遊など)を避け、原則として6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態。(出典:令和3年8月東京都ひきこもりに係る支援協議会「ひきこもりに係る支援の充実に向けて」提言)

*2 ヤングケアラーとは、本来、大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを子どもが日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことをできないなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子どものこと。(出典:令和元年度 子ども・子育て支援推進調査研究事業「ヤングケアラーへの早期対応に関する研究報告書」)

問9 地域の中で課題に感じることや、活動を通してよく聞く困り事は何ですか。(当てはまるもの全てに○)★8

1 挨拶をしない人が多い	8 緊急時にどうしたらよいか分からない
2 近所との交流が少ない	9 治安が悪くなっている
3 世代間の交流が少ない	10 地域から孤立している人がいる
4 地域の活動が活発でない	11 サービスに結びついていない人がいる
5 地域の中で気軽に集まれる場が少ない	12 その他()
6 移動手段が整っていない	13 特にない
7 買い物へ行くのに不便を感じている	

問10 既存の公的な福祉サービス(児童福祉サービス、障害福祉サービス、介護保険サービスなど)では解決できず困っている問題があると感じますか。(1つに○)★9

1 ある	2 ない	3 どちらともいえない
------	------	-------------

問11 ひきこもり、成年後見制度の利用、ヤングケアラー、再犯防止の地域づくりなど、支援の必要な人・世帯を支える上での課題と、力を入れる取組について、お考えをお聞かせください。#

ア 市の課題	イ 市や関係機関が力を入れる取組

問12 貴団体の活動分野において、向こう5年間で直面すると思われる課題がありましたら、お聞かせください。#

<p>例えば、少子高齢化、多様な背景を持つ人の増加、デジタル社会の広がりなどが想定されます。</p>
--

4 今後の活動について

問13 貴団体が活動を行う上で、市にどのようなことを望みますか。(当てはまるもの全てに○)★11

1 団体や活動についてのPR	7 他団体とのネットワーク化
2 活動上必要な情報の提供	8 団体運営上の助言
3 活動場所の提供	9 設備・備品の充実
4 会員募集の支援	10 成果の発表の場の提供
5 リーダーの養成支援	11 その他()
6 活動資金支援	12 特にない

問14 地域福祉推進について、御意見・御要望等、御自由にお書きください。★13

アンケートは以上です。御協力に感謝申し上げます。

*後日、ヒアリングをお願いする場合は、改めて御連絡を差し上げます。